

商品履歴

商品履歴

出力条件

商品 0100101 エアアーチ6m

期間 2015年7月 ~ 2016年8月 366 日

稼働率も同時に計算する

印刷プレビューあり

稼働率計算

稼働率 63.4%

総稼働日数 464 日

総在庫日数 732 日

取得日 2011/01/01

取得価格 0 円

耐用年数 5 年

納品日	種別	得意先/修理先	最終返却日	返却済	伝票No	出荷数量	返却数量	稼働日数	単価	売上金額	修理
2015/06/08	レンタル	ふくろう販売株		未	11	1.0	0.0	368	60,000	60,000	
2016/03/25	レンタル	ふくろう販売株		未	17	1.0	0.0	98	60,000	60,000	
* 計 *								464		120,000	

F10
 F11
 F12

機能説明

- 指定商品の売上傳票、修理伝票(修理中、メンテナンス中、完了)から表示、印刷します。売上傳票は明細単位で1行にまとめます。
- 売上傳票は明細の商品種別がレンタルか販売のデータを出力します。
- 修理伝票は状況は修理中、メンテナンス中、修理メンテナンス済のデータを出力します。
- 商品の使用区分や在庫管理区分の設定値関係なく出力します。(在庫管理不要の場合は修理データはなし)
- 明細行ダブルクリックにて、該当伝票を売上入力、修理入力画面の修正モードで表示します。
- 帳票はA4横、レーザプリンタ対応です。
- 修理の行は売上傳票の修理ではなく、修理入力で入力した修理伝票を集計します。
- 一覧の並び順は、納品日昇順+種別(レンタル⇒販売⇒修理)順+返却日昇順+伝票No昇順 となります。

出力条件

【商品】

指定必須です。(商品の使用区分や在庫管理区分の設定値関係なく指定可)

選択すると、取得日、取得価格、耐用年数が自動表示されます。

商品の在庫管理区分が「不要」の場合、稼働率計算のメッセージ箇所に「在庫管理「不要」の商品のため、稼働率計算はできません」と表示されます。

【期間】

出力する期間を選択し、集計ボタン押下で一覧表示されます。

初期値: From...本日の1年前の翌月、To...本日を含む月

期間の右側には稼働率計算に関する期間日数を自動表示します(Fromの1日~Toの末日まで)。

ただし、本日が期間内に含まれる場合は、本日までの日数を期間Toとします。この日付は稼働日数と稼働率計算にのみ適用されます。

出力対象外となる期間: 最終返却日<期間From かつ 返却残なし(出荷数-返却数<0) または 納品日>期間To

	期間From	期間To	出力	取得範囲
⇔	⇔	⇔	×	最終返却日<期間From かつ 返却残なし(出荷数-返却数<0)
⇔	⇔	⇔	○	
⇔	⇔	⇔	○	
⇔	⇔	⇔	○	
⇔	⇔	⇔	○	
⇔	⇔	⇔	×	納品日>期間To

【稼働率も同時に計算する】チェック

初期値:チェックOn。実行端末ごとに前回値記憶

概要: チェックOnで集計ボタン押下すると、稼働率も自動計算して表示します。

★稼働率計算方法

- ・ 期間内総稼働日数 = 期間内の貸出日数 × 貸出数量
- ・ 期間内総在庫日数 = 期間日数 × 帳簿在庫数量
- ・ 稼働率 = $\frac{\sum(\text{期間内総稼働日数})}{\sum(\text{期間内総在庫日数})} \times 100$

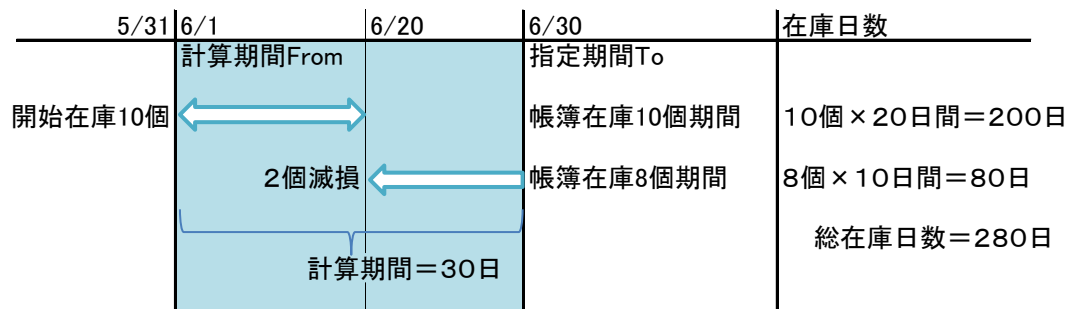
- ※ 稼働日数は各明細ごとに計算され合計する。計算方法は以下の「稼働日数、総稼働日数の計算方法」の説明を参照
- ※ 在庫日数は倉庫ごと、日ごとに計算され合計する。計算方法は以下の「総在庫日数の計算方法」の説明を参照
- ※ 期間日数には開始残高日を考慮する。すなわち、期間内に開始残高日が含まれる場合は、開始残高日以降で計算する。
- ※ 開始残高日 > 期間Toとなる倉庫の場合は計算されない。
- ※ 修理、および売上の販売は対象外

★総在庫日数の計算方法

倉庫ごとに以下の方式で在庫日数を計算します。在庫日数の総合計を総在庫日数として計算します。

- ① 倉庫ごとの開始残高日と残高数量を取得します。
開始残高のデータがない倉庫は在庫日数は計算されません。
- ② 在庫日数の計算期間を決定します。商品の開始残高登録されており、開始残高日に応じて以下で計算します。
 - ・開始残高日が画面の指定期間内 の場合
計算期間 = 開始残高日 ~ 指定期間To
 - ・開始残高日 < 画面の指定期間From の場合
計算期間 = 画面の指定期間From ~ 指定期間To
 - ・他(画面の指定期間To < 開始残高日 または 開始残高日の設定がない) の場合
※在庫日数は計算されません
- ③ 計算期間の開始日から終了日までを1日ずつループしながら以下の数値を累計します。
 - ・①で取得した開始在庫数 + 商品コードと倉庫コードが一致するデータから該当日以前のレンタル以外の入出庫数をの合計
※すなわち、各日ごとの帳簿在庫数を計算して全日数合計します。

例: 計算期間が6月1日～6月30日の場合で、
ある商品のA倉庫の開始在庫が5月31日で10個で、6月20日に2個減損していた場合



★稼働日数、総稼働日数の計算方法

売上明細ごとに以下の方式で稼働日数を計算します。稼働日数の総合計を総稼働日数として計算します。

① 稼働日数の計算期間を決定します。商品の開始残高登録されており、開始残高日に応じて以下で計算します。

- ・開始残高日が画面の指定期間内 の場合
計算期間 = 開始残高日 ~ 指定期間To
- ・開始残高日<画面の指定期間From の場合
計算期間 = 画面の指定期間From ~ 指定期間To
- ・画面の指定期間To<開始残高日 の場合
※稼働日数は0日となります。

② 上記①で求めた計算期間内で、レンタル明細を抽出し、貸出日数×貸出数=稼働日数 として計算します。

例: 計算期間が6月1日~6月30日の場合で、
ある商品を5月20日に6個貸出し、5月30日に1個、6月20日に2個返却していた場合

5/20	5/30	6/1	6/20	6/30	稼働日数
6個貸出	1個返却	計算期間From	2個返却	指定期間To	計算されません 2個×20日間=40日 3個×30日間=90日

【印刷プレビューを表示する】

初期値:チェックOFF。実行端末ごとに前回値記憶

概要:チェックOnで印刷ボタン押下するとプレビュー画面を表示します。

項目説明

【納品日】

レンタル・販売明細: 売上傳票の納品日

修理明細: 修理期間開始日

【種別】

レンタル明細: 商品種別マスタのレンタルの商品種別略名。初期設定では「レンタル」

販売明細: 商品種別マスタの販売の商品種別略名。初期設定では「販売」

修理明細: 修理伝票の状況=修理中、メンテナンス中は「修理中」、状況=修理・メンテナンス済は「修理済」

【得意先/修理先】

レンタル・販売明細: 売上傳票の得意先略名

修理明細: 修理伝票の修理先名1

【最終返却日】

レンタル明細: 該当売上明細で返却日が最大の年月日。返却なしの場合は空白

販売明細: 空白

修理明細: 修理伝票の状況=修理・メンテナンス済の場合に、修理期間終了日。他は空白

【返却済】

レンタル明細: 返却残数(出荷数-返却数)<0の場合に「済」。他は「未」

販売明細: 空白

修理明細: 修理伝票の状況=修理・メンテナンス済の場合に、「済」。他は「未」

【伝票No】

レンタル・販売明細: 売上傳票No

修理明細: 修理伝票No

【出荷数量】

レンタル・販売明細: 売上傳票の売上数量

修理明細: 修理伝票の修理数量

【返却数量】

レンタル明細: 該当売上明細の返却数合計

販売明細: 空白

修理明細: 修理伝票の状況 = 修理・メンテナンス済の場合に、修理数量。他は0

【稼働日数】

レンタル明細: 明細ごとの稼働日数

販売明細: 空白

修理明細: 空白

【単価】

レンタル・販売明細: 売上傳票の売上単価

修理明細: 空白

【売上金額】

レンタル・販売明細: 売上傳票の売上金額

修理明細: 空白

【修理金額】

レンタル・販売明細: 空白

修理明細: 修理伝票の修理金額

【納入先名1/修理内容】

レンタル・販売明細: 売上傳票の納入先名1

修理明細: 修理伝票の修理内容

詳細設定

プリンタ設定が可

商品履歴 詳細設定

印刷設定

プリンタ DocuCentre-IV C2280

OK (F5) キャンセル (Esc)